

A. 播種(種まき)準備

4月上旬

○種子消毒(浸種)～催芽

イネの病気を防ぐために、あきたこまちの種を種子袋に入れて24時間消毒液につけます。
(はじめから消毒されている種子もあります。)

この消毒で、ばか苗、いもち病、ごま葉枯病(はがれびょう)を同時に防除します。

消毒が終わると消毒液を水で洗い流し、約1週間水(水温10～15℃)に浸します。

その後、催芽機という水温(30℃・約28時間)を一定に保つ機械で1mmほどの芽を出させます。

B. 播種作業

4月中旬

育苗箱(いくびょうばこ)に床土(とこつち)をいれ、種子をまきその上から土を被(かぶ)せます。

